

**令和元年度 事務事業総点検シート(1)**  
**[平成30年度事務事業]**

<b>一般会計</b>		<b>事務事業分類</b>	<b>詳細点検</b>
<b>事務事業名</b>	健康推進・がん対策推進事業	<b>シート番号</b>	A 一般事務事業
<b>担当部署名</b>	健康福祉 局 健康 部 健康医療推進 課	<b>評価責任者(課長名)</b>	河盛

**Ⅰ. 基本情報**

<b>基本情報</b>	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	1	暮らしの確かな安全・安心を確保します	後期実施計画の位置付け	
			施策	1	市民の命を守る健康・医療体制の強化	無	
	2	事業開始年度	平成 20 年度		終了(予定)年度	— 年度	
	3	根拠法令等 (法令、条例、規則、要綱等)	健康増進法、堺市がん対策推進条例				
	4	関連計画	健康さかい21				
5	事業実施の経緯	堺市の健康増進計画で、がん検診受診率の目標値を50%としている。その目標の実現に向けた啓発活動などの取り組みとして、平成20年度から本事業を開始。					

**Ⅱ. 事業概要**

<b>事業概要</b>	6	事業の実施主体 (誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input checked="" type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input checked="" type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象 (誰を、何を対象としているのか)	堺市民 (がん検診の対象者は、20歳以上の女性、40歳以上の男性)			
	8	事業の目的 (どのような状況にしたいのか)	がんについて疾患の理解とがん検診の必要性を理解し、自発的に予防行動が取れ、定期的に自発的に検診を受ける市民を増やす			
	9	事業内容 (スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・普及啓発: 保存版の啓発リーフレットの各戸配布、受診案内の送付、各区保健センターの保健師等が地域へ出向き、がんに対する健康教育を実施するなど啓発、NPO法人や患者団体と連携した啓発活動(地域に出向いて健康教育やイベント時の啓発活動) ・がん検診の不定期受診者を対象に、受診勧奨のハガキを送付した後で、がん検診総合相談センターによる架電を行うコールリコール事業を実施する。 ・令和元年度は、一部の子宮がん検診において保育サービスを実施する。			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( ) 株式会社NTTマーケティングアクトほか				

**Ⅲ. 投入量**

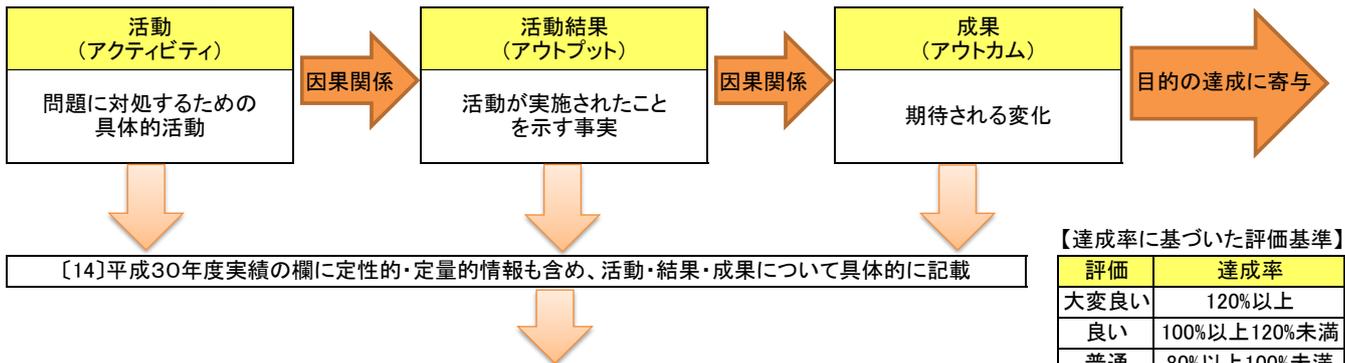
	項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
<b>事業コスト</b>	11 事業費 (a)	千円	21,987	58,351	66,553	73,848	
	主な事業費内訳	消耗品費	千円	773	954	491	708
		備品購入費	千円	0	0	0	100
		委託料他	千円	21,214	57,397	66,062	73,040
			千円				
	財源内訳	国・府支出金	千円	0	1,762	4,724	11,144
		受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	21,987	56,589	61,829	62,704
12	人件費 (b)	千円	3,960	3,960	3,960	3,920	
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	25,947	62,311	70,513	77,768	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

事務事業名	健康推進・がん対策推進事業	シート番号	11-187
-------	---------------	-------	--------

### ≪Ⅳ. 評価(測定・分析)≫

#### ロジックモデルの考え方



【達成率に基づいた評価基準】

評価	達成率
大変良い	120%以上
良い	100%以上120%未満
普通	80%以上100%未満
少し悪い	60%以上80%未満
悪い	60%未満

[15]または[16]に定量的な指標、または定性的な目標を記載

#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
活動実績と成果	14	<p>イベントの実施: 10月のピンクリボンキャンペーン月間に10日間のパネル展示等を実施、各区の区民まつり等での啓発活動、がん対策推進イベントにおいてチラシ等の配布を商業施設で2日間実施、各区保健センターにおけるがんをテーマにした健康教育の実施                      企業などとの連携: がん検診受診促進のため企業等と協定を締結、健康づくり関連について協定企業(本市包括協定・がん検診連携協定・健康づくり協定など)及び健康づくりパートナー登録事業所(合わせて約60社)と連携し従業員及び市民へのチラシ及びポスター掲出による普及啓発を実施                      がん検診総合相談センター(コールセンター)の取組: がん検診等の制度案内、集団検診の予約受付、がん相談、受診勧奨の機能を併せ持つ電話窓口を開設し、25,000件の受電と43,750件の架電を行う体制を確保し、市民の利便性の向上を図る。</p>						
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		がんをテーマにした健康教育の実施	回	目標値	150	150	251	249
				実績値	94	251	249	
				達成率	63%	167%	99%	
	評価	少し悪い		大変良い	普通			
	算出方法・設定根拠など		普及啓発の機会の実施数					
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
				目標値				
				実績値				
達成率								
評価								
算出方法・設定根拠など								

#### 業績の分析

	<p style="text-align: center;">目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)</p>
17	<p>受診率の目標値(50%)については、市が実施するがん検診の受診実績だけでなく、職域で実施されたがん検診の受診実績が本来は含まれる。                      この目標値を達成するため、健康教育を開催しより多くの市民へがんに関する知識普及を進めて行かなければならないが、現状は、健康教育の開催回数がほぼ横ばいとなっている。                      今後、がん検診の受診率の目標値の達成に向けて、がん診療連携拠点病院や企業等とも連携を図りつつ周知啓発に努めていかなければならない。</p> <p>なお、平成28年度から、がん診療連携拠点病院等と連携したがん受診率向上のための啓発を強化した結果、回数が増加している。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。